

情報連絡員報告総括表(令和3年3月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名(100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況							
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製 造 業	食料品		3	1	1	3		1	3			3	1		1	3		2	2		3	1		4			2	2				
	繊維工業	1	1	1	1	2			3			2	1		2	1		3		1	1	1		2	1			3				
	木材・木製品	1					1	1		1			1				1		1				1		1							
	紙・紙加工品			2		2			1	1		1	1			2	1	1				2		2				2				
	印刷			1		1			1			1				1			1			1		1				1				
	化学・ゴム																															
	窯業・土石製品	1		2	1	2			3			3			2	1		2	1		3			3				3				
	鉄鋼・金属	1				1			1			1			1			1		1			1			1		1				
	一般機器	1		2	2		1		3			2	1	1		2		2	1		2	1		3			1	2				
	電気機器			1			1			1					1				1			1		1				1				
	輸送機器	1					1		1			1			1				1	1			1			1						
その他																																
小計	6	4	10	5	11	4	2	16	2	1	15	4	2	7	11	1	12	7	4	9	7	1	18	1	2	4	14					
非 製 造 業	卸売業		1	1		2		2			2			1	1		2		X				2				2					
	小売業	2	2	2	1	4	1	3	2	1		5	1		3	3		4				2			6		1	3	2			
	商店街			1			1		1			1			1			1							1				1			
	サービス業	1	4		X			1	4			5		1	3	1		4				1			4	1		4	1			
	建設業	1	3						4			4			4			4						4				4			4	
	運輸業		1						1			1			1			1						1				1			1	
	その他			1								1			1			1						1				1				1
小計	4	11	5	1	6	2	4	14	2		18	2	1	11	8		16	4			19	1	1	12	7							
合計	10	15	15	6	17	6	6	30	4	1	33	6	3	18	19	1	28	11	4	9	7	1	37	2	3	16	21					

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和2年3月～令和3年3月)

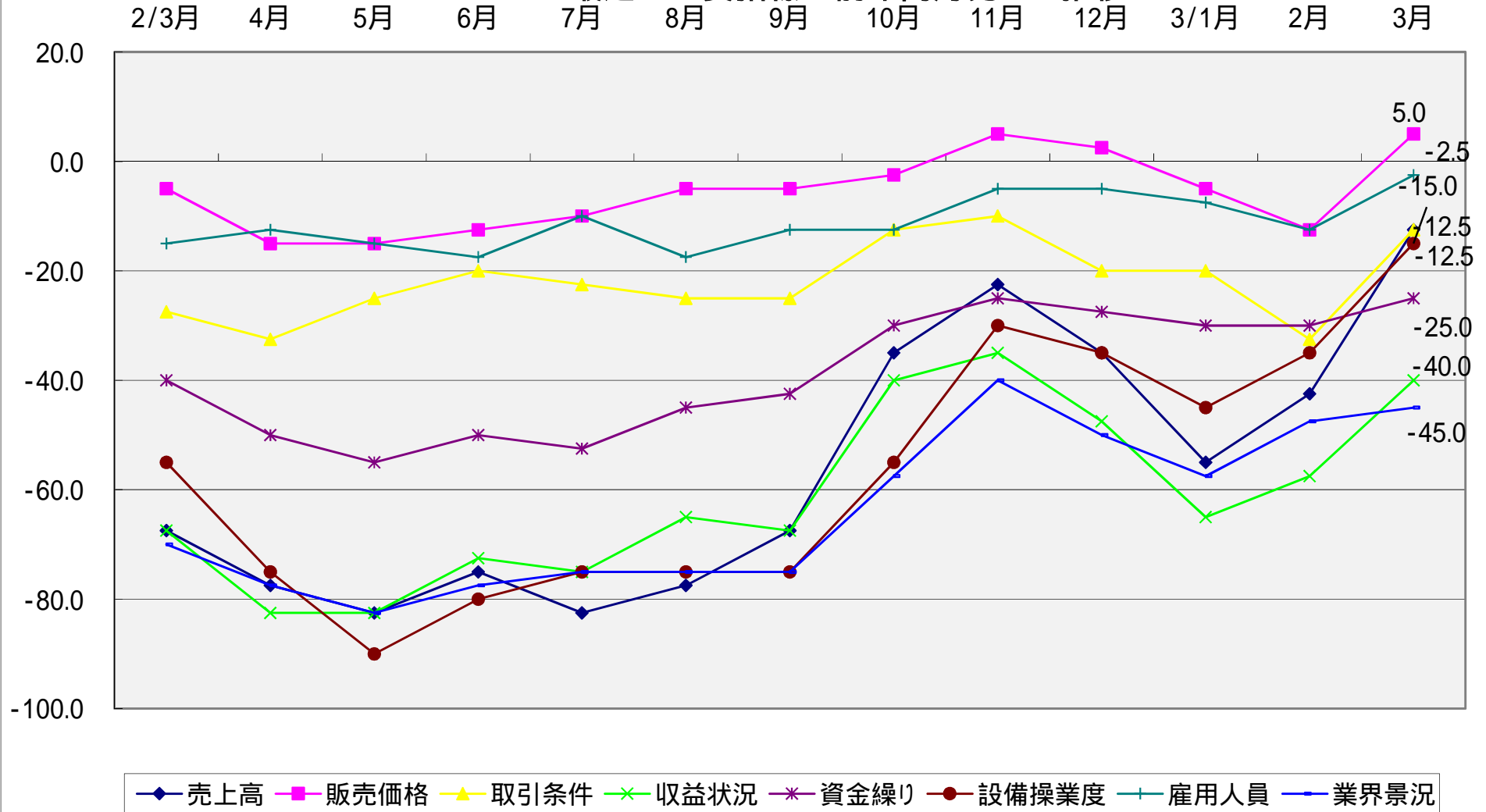
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40 名

	2/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	3月	増減
売上高	-67.5	-77.5	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	-12.5	30.0
販売価格	-5.0	-15.0	-15.0	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-5.0	-12.5	5.0	17.5
取引条件	-27.5	-32.5	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5	20.0
収益状況	-67.5	-82.5	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	-40.0	17.5
資金繰り	-40.0	-50.0	-55.0	-50.0	-52.5	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-30.0	-30.0	-25.0	5.0
設備操業度	-55.0	-75.0	-90.0	-80.0	-75.0	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-45.0	-35.0	-15.0	20.0
雇用人員	-15.0	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	-7.5	-12.5	-2.5	10.0
業界景況	-70.0	-77.5	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	-45.0	2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醤油味噌	あまり芳しくない業況である。昨年のこの時期にコロナ流行が始まり、悪い状態であった。一巡した状況で今後どうなるか、どこまで回復できるか、飲食と宿泊がまだまだ悪い状況であるので心配である。無利子融資の追加借入を申し込んだ。予算組みも苦労している。
	豆腐	コロナの影響による外食産業、観光業への食材としての豆腐油揚げの納品が減少しているのに加えて、燃料費が高騰しており、収益が悪化している。
	製麺	令和2年度を振り返り、この一年はコロナに悩まれた年となった。また、業界、会社等で当然のようにできていた事業がコロナウイルス発生を起因に大きく変革が必要となり、見直しするチャンスともなった。伊勢うどんをもっと地域に根差して全国にも広げていけるように商品の見直し、販路の取組みを含め、業界で考えていけるように取組んでいく。今後のご指導をよろしくお願いいたします。
繊維工業	衣料縫製	加工賃の下落で収益状況が悪化した。有給休暇の強制的な取得がさらに追い打ちをかけている状況である。
	テントシート	年度末もあつてか、忙しい月であったが、限定的な感じがして、これから先は不透明である。
木材・木製品	木材	米国の戸建て住宅の増加による外材の入荷難で国産材を中心に材価が高騰している。
紙・紙加工品	紙器段ボール	全国的には巣ごもり需要に伴う変化があり、業務用から家庭用向け、また宅配用の段ボールが増えている。相対的に堅調な動きである。三重県下では、取引先の業種によって増減差があり、前年対比でプラスの企業が少しで、マイナス傾向になっている企業が多いと判断される。
	古紙	3月の仕入れ量は段ボール・約97±5%、新聞・チラシ・約87±7%、雑誌・雑み、その他を合わせて約90±8%と思われる。国民の巣ごもり消費により関連する業種の段ボール消費は前年より良いようである。新聞と雑誌の販売量は激減し家庭での古紙の発生量が減っているためか、収集日の減少が要因なのか悪天候による未実施が原因かは分からないが、地域によって集荷量が月次で大きく増減しているようである。ワクチンは量も安心も十分ではないが、オリンピックや選挙もあり、業界としては明るい材料であるが、半導体製造工場が焼失等で自動車等の一部製造が出来ないようなニュースもあり、コロナ後のIT・DX化も含め大きく影響するように思う。SDGsの脱炭素社会でプラスチック製から紙製への移行のニュースもあったが、製紙原料として使用不可の場合が多く製紙原料古紙に混入しないと良いけれどもも考えている。古着は採算が合わず、しかも大発生しており悩みの種である。家庭紙は昨今の今頃に特需があったが、花粉の時期でもマスク効果で消費は通常ようである。製紙会社によっては、製紙原料古紙が少し足りない感があるようであるが、古紙の発注量は平均20%程のマイナス発注が続いている。古紙の持去り行為やゴミの不法投棄等は普通にあるが、少し悪化した印象である。
印刷	印刷	年度末の繁忙期で、需要は他の月と比べて格段に増加した。しかしながら、官公庁をはじめ多くの印刷物は、年度内納品厳守のものが多く、さらに昨年同様コロナ禍による需要の減少もあり、新年度の始まりも厳しい業況である。
窯業・土石製品	伊賀焼	新型コロナウイルスの感染拡大により予断を許さない状況が続いているが、伊賀焼伝統産業会館については、来館者数、売上ともに増加している。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産高は2月と同様に増加傾向にあった。しかし自動車関連部品はメーカーにより増減がはっきりと分かれた。機械関連部品、ガス関連部品、建築関連部品とも2月同様ゆっくりと回復の兆しがあり、今後同様に推移すると考えられる。電気・半導体関連部品は需要も多く2月以上に伸びた。また、4月以降も同様に増産傾向にある。
一般機器	四日市	コロナウイルス感染症の収束がみえない上に他国と比べてワクチン接種も大幅に遅れて、国民全体が不安の日々を送っている。これは組合員も例外ではなく、経済活動も下降気味である。ただし、業種別にみると少しはましなのかも知れない。
	津市	半導体不足と言われながらも自動車部品は好調である。しかし、昨年はコロナの影響が3ヶ月遅れでやってきたので油断はできない。また、3月のルネサスの火災も気になる所である。自動車部品以外は昨年とほぼ変わらないが、例年、年度末による増加があるため、他の月に比べると良い。ただし、令和2年4月～令和3年3月の年間累計は一昨年と比べると少しマイナスとなった。
	伊勢	非常事態宣言が解除されたが、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大してきた。春休みに入り、伊勢への観光客は増加している。伊勢神宮への往来や電車の客も増えている。経済にとってはありがたいが、感染拡大は心配である。政府の方針で外国人の入国制限が東京オリンピックが終わるまで続くとなれば、経済の回復は遅れてしまう。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
電気機器	鳥羽	期末である3月は通常であれば受発注が重なり、大変忙しい時期である。前年と比べても40～50%ダウンしており、非常に困惑している。
	輸送機器	鈴鹿
小売業	青果	野菜前半:小松菜、キャベツ、レタスの入荷が安定している一方、消費の動きは鈍く値下げが続く。じゃがいもは北海道産が終了間近であり、主要産地の鹿児島県産も作況の悪さもあって高値であった。野菜後半:例年より遅れ気味だった県内産中心の筍の入荷が増え、価格も安くなっている。北海道産の玉ねぎの価格も安定している。新玉ねぎも好天で収穫が進み安くなっている。レタス、白菜も例年に比べて安い。果物後半:甘夏、いよかん、中晩柑が豊富である。また、熊本産が中心のデコポンは露地物が出始め、価格もやや安い。苺は入荷が増えたものの、価格は横ばいであった。果物後半:年末から安定した価格が続いていた苺が値下がりしてきた。県内産の甘夏、セミノール、中晩柑は人気で買い得である。青森産のりんごはサンフジを中心に入荷が多く、例年より安い。
	自転車	コロナ禍が2年目に入り、その影響が小さくなったとは言えないものの当業界もその対応に少しは慣れてきた気もする。これから季節的にも自転車にとって条件的にも良くなっていく。この世界的なパンデミックの中、部品、完成車における供給に問題が全くない訳ではないが、非常に高まった需要に対して応えていく最大限の努力が長期的に求められている。不謹慎を覚悟のうえで「禍転じて福となす」と言いたい。
	石油	3月29日時点のレギュラーガソリンの全国平均は146.9円となり、先週から1.5円の値上がりである。12週連続の値上がりとなっている。三重県のレギュラーガソリンの平均価格は143.6円、ハイオクは154.5円となっている。OPECと非加盟産油国で構成するOPECプラスは、欧州で実施されている新型コロナウイルス対策のロックダウン措置を受け、4月1日に開催される会合で現在の減産規模を5月以降も継続との決定をする見通しである。これを受け原油価格は上昇傾向で、ガソリン等の価格も値上がりが見込まれる。業界は価格上昇につれ、消費が落ち込むことが必至でありさらに気温が上がるにつれ灯油の消費も落ち込む。どちらにしても先行きの見えない暗い話ばかりである。
	スポーツ	予算の使い残しが出てくる月である。特にグラウンド土の注文が3月は毎年多く、納品に困る事が起きてくる。もう少し前に予定してくれればよいと毎年思う。春になるので、雨の日も増えるし、雨が降ればトラックはグラウンドに入れなくなり、納品に支障が出る。学納ではこの時期は新入生の体操服の受注がある。特に高等学校では一日入学の日に採寸をするが、同日に重なり人の手配に困る。
商店街	熊野市	新型コロナウイルス感染拡大に伴う県下での「緊急警戒宣言」が今月初めによりやく解除され、それに伴い商店街での朝市イベントを今年初めて開催できた。あいにくの悪天候にもかかわらずスタート時からお弁当類のテイクアウト品をはじめ、客足は好調であった。
サービス業	旅館	春休みで週末はそこそこ賑わっていたようであるが、緊急事態宣言が解除されても各地で感染拡大が出ていて集客が伸びなかった。特に関西圏での感染拡大が大きな痛手であった。今月はどこも前年同月比80～100%位であったが、一昨年同月比では約40～50%位の営業状況であったようである。
	測量	仕事柄、コロナウイルス感染の可能性は少なく、作業には影響はない。相変わらず官民とも仕事量は減っている。
	警備	公共事業の年度末で、従来通りの受注があり、コロナウイルスの影響はなかった。
建設業	総合工事業	令和2年4月から令和3年2月までの県内建設業の受注状況は、前年度同期の受注高を上回る結果となった。また、補正予算の早期成立の効果により、2月の受注高も前年同月比104%を確保した。令和3年度の国家予算が既に成立していることから、切れ目のない公共工事の受注が期待される。
	内装工事業	ここ最近の流れから売上は減少すると思われたが、年度末という事もあり、対前年同月比で増加となった。今月以降、コロナウイルスの影響も考えると、業況はあまり良くないと思われる。
	水道工事業 (亀山)	材料 (器具等) の品薄状態が続いており、現状では発注から入荷までの期日が定まらない状況である。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
運輸業	トラック	軽油価格は4ヶ月連続で上昇している。世界的な車載向け半導体の調達難による自動車生産ラインの一部停止等を理由に自動車関連の輸送は減少となっている。住宅着工戸数が増加に転じた事から建材関係の輸送については増加した。個人消費もコロナ禍による巣ごもり需要を理由に飲食料品、家電の売上が好調な事から輸送量も増加している。また宅配も堅実に伸びている。
その他の非製造業	不動産	政府の経済対策では、地方移住のグリーン住宅ポイント制度の創設等、コロナ禍での生活様式を考慮した対策がなされており、地方への移住促進等における不動産の活性化に期待している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	4月より会合を開いていき、話し合いを持っていく。HACCPも令和3年6月には完全義務化されるので、業界で決めた事をきちんとやっていけるよう取組んでいく。
一般機器	四日市	無策の政府には望むべくもない。せめて医療崩壊だけはしないように最大限の努力をしてもらいたい。
小売業	スポーツ	まもなく、インボイス請求が始まるので、詳しい説明が聞きたい。説明を聞きたい組合員が他にもいると思っている。講習会はありますか。連絡下さい。
サービス業	旅館	最近、PCR検査により簡便、安価な「抗原検査」を一部交通機関で実施されていて、検査キットも市販されているようであるが、有効性、取扱い方法等、専門機関の意見をお願いしたい。